

学び合い・ふれあい・支え合う学校

みんなの学び舎 栃木中央小学校 学校だより 3月号

一年間 ご支援ありがとうございました。

保護者の皆様の絶大なご支援・ご協力のおかげをもちまして、全校生が元気に充実した1年間を過ごすことができました。本日在校生全員が修了証を手にして、4月からは、それぞれ進級し、新たな一歩を踏み出すことになります。これからもよろしくお願ひいたします。

6年生に感謝する会

2月27日に6年生に感謝する会が開かれました。もうすぐ最高学年となる5年生が中心となり初めて全校を引っ張る大きな行事の企画・運営をしてくれました。

当日会の中で行ったパズル型のメッセージカードづくり、替え歌のプレゼントは子どもたちが企画し、メッセージカードのパズルや飾り、替え歌の歌詞づくりなど、準備の段階から進んで取り組んでいました。会を通して、子どもたちの成長がたくさん見られ、教職員も感激のあまり涙を流していました。1年間のなかよし班活動の取り組みが、こんなにも全校生の絆を深めるものであることをあらためて実感しました。



左の写真は、班ごとに6年生へのパズル型メッセージカードづくりをしているところ。世界に1枚しかない心のこもったプレゼントに6年生もとても喜んでいました。6年生の膝の上にすわっている1年生の姿もありました。



この写真は大型スクリーンに映し出された画面を見る72班からなる児童の様子会の結びでは、各班ごとに撮影した4月と最近の写真が対比して映し出され、それぞの大きな成長と絆の深まりが十分伝わってきました。



各学年からの感謝の歌と出し物もとても心がこもっていてすばらしかったです。
ろ…路傍の石の吾一のように
く…苦しい時もあきらめず
ね…熱心に学校のために
ん…がんばってくれました
せ…先頭に立って
い…いつも輝いていた6年生

例えば、2年生ではろくねんせいと書かれた大きなカードを1枚ずつ掲げながら、上記のような言葉を添えて感謝の気持ちを伝えていました。

心を一つにしてすばらしい卒業式



3月18日、温かい日差しが体育館の窓にそそぐ中、栃木中央小学校となって4回目の卒業式を実施しました。卒業生97名の堂々とした立派な態度から6年間がんばってきたという自信を感じられました。在校生の別れのことばの心のこもった声は、体育館全体に響き渡り、来賓の方々からは全校生が心を一つにしていることがわかり感激しました。という言葉をたくさんいただきました。保護者の皆様、そして、多くのご来賓の皆様には、ご参列いただき、心より感謝申し上げます。尚、この度、6年生全員により、校歌の一文字一文字を彫り上げたものを、上の写真の右上方にありますように校歌額として掲額させていただきました。この立派なステンレスの額縁と、体育館ステージ上の大型スクリーンの設置につきましては、PTAバザー益金を使わせていただきました。重ねて御礼申し上げます。



在校生の花のアーチをくぐる



小学校最後の記念写真



凛々しいの卒業生の晴れ姿



卒業証書を受け取る姿

○放射線量(3/19) ○. ○61~○. ○74 μ S
(マイクロシーベルト)

(卒業式 校長式辞)

日に日に日ざしの温かさが増し、春の息吹を感じる今日この頃

本日は、栃木中央小学校の第4回卒業式を挙行するにあたり、栃木市教育委員会教育総務課主幹 根本恭子様、栃木市議会事務局長 松本俊様をはじめ、多数のご来賓の皆様、保護者の皆様にお越しいただきまして誠にありがとうございます。教職員一同、心よりお礼申し上げます。

このよき日に栃木中央小学校を巣立っていく97名の皆さん、「卒業おめでとう」心からお祝い申し上げます。

今、卒業生の皆さんの中には、どんな思いが駆け巡っているでしょうか？ おうちの方に手を引かれて、それぞれ伝統ある栃木第一小学校・第二小学校の門を初めてくぐったあの日。そして2年生の9月、学校名はそれまでのままでしたが同じ旧第一小学校の校舎で過ごし始めました。そして、3年生になり、栃木中央小学校が誕生し、皆さんは同じ教室で出会いました。互いの違いを認め合い、仲間とかかわり合い、学び合い、夢を叶えようと、いつも前を向き生活してきました。そしてよいよ、6年生となった4月、入学したばかりの1年生に、朝の学習準備のお手伝いをやさしくていねいにしてあげました。そんな6年生のためにと、1年生からてるてる坊主のプレゼント。修学旅行には、6年生のめいめいのバックにかわいいてるてる坊主が下げられました。おかげで2日間すばらしい天気に恵まれて、忘れられない鎌倉・横浜の旅行となりました。夏、サマースクール 校庭でのキャンプファイヤーの炎に照らし出された皆さんの笑顔。子ども朗読フェスティバルで学年全体での「心に太陽を、そして竹のように天に向かって」の群読発表。秋 なかよし班を中心した活動で全校児童の絆を深めた感動的な秋季大運動会。

陸上・駅伝・水泳・すもう・ハンドボール・合唱・理科部の活動にも熱心に取り組み、自らの頑張る姿で下級生を引っ張っててくれました。そして、皆さんの6年間の学びの集大成として書き上げた卒業論文。いくつか紹介してみましょう。

- 心に太陽を持つ詩の意味は、笑顔を絶やさずに人を憎んだり人をうらやんだりしてはいけない。前を向いて生きていけばどんなさびしい、悲しい日だって乗り越えていけるということだろう。まず、自分の将来の夢をしっかりと持ってそして、世の中のために、人のために役に立つ人になりたい。

- これからの中学校生活を一日一日を大切に過ごし、自分を大切にして、自分の考えをしっかりと持って夢をあきらめないように生きていきます。

- 山本有三先生の言葉を心に刻み、立派な中学生になりたい。吾一はすごいなあと感心するだけでなく、自分も吾一みたいに変わらないといけない。

みなさんの卒業論文の中から感じたことは、山本有三先生が様々な作品を通して訴えている生命・人権・そして絆を大切にして、夢に向かってひたすら努力して行こうとする皆さんの強い決意に頬もしさを感じました。

さあ、いよいよ皆さんは6年間の思い出を胸に、本校を巣立っていきます。

今、体育館の2階にはなかよし班72班のみんなで考えた6年生へのメッセージがかかけあります。

ぜひ、在校生の思いを心に刻んでください。

さて、先日、感謝の会で先生方からみなさんにプレゼントしたハンドベルの演奏、エールという曲でしたね。

いきものがかりが歌った「YELL」の歌詞の一節に次のような言葉があります。

さよならは 悲しい言葉じゃない それの夢へと 僕らをつなぐ YELL

ともに過ごした日々を 胸に抱いて 飛び立つよ 独りで 未来の 空へ

いつかまた めぐり逢う そのときまで 忘れはしない 誇りよ 友よ 空へ

栃木中央小学校で学んだ誇りを胸に、どんなことにもくじけずやり抜き、そして、人との絆を大切にしたこの学び舎での日々を誇りに思い、中学校で活躍してください。

さて、保護者の皆様 この六年間の小学校での数々のお子様との思い出が浮かんでは消え、感慨もひとしおであろうと推察いたします。皆様のお子様に寄せる愛情と本校に寄せる期待、そうした思いが本校の教育を支えてまいりました。改めまして、保護者の皆様のご理解とご協力に衷心より御礼申し上げますとともにお子様のご卒業を心よりお祝い申し上げます。結びに、常日頃より本校に対しご指導・また温かいご支援いただいておりますご来賓の皆様に深く深く感謝申し上げますとともに、卒業生97名の前途を祝し、式辞といたします。



◆ 3月に入って6年生が私たちのために卒業感謝会を開いてくれました。

それぞれのクラスの工夫した出し物を見せていただき、教職員一同忘れられない

よい思い出となりました。(写真)

そのお礼に教職員からも歌やハンドベルの演奏等をして、卒業に向けてエールを送りました。また、特別支援学級では、お別れ会が行われ、卒業生の立派な発表（それぞれの12年史）があり、すばらしかったです。

その後、在校生からの踊りのプレゼント等（左写真）があり、保護者の皆様も感激されていました。心温まるすばらしい会でした。

